

未来へつなぐ成田の教育

市では、学校教育と生涯学習に関する施策を推進することを目的に、「学校教育振興基本計画」と「生涯学習推進計画」を統合し、令和17年度までの10年間の計画期間とする「教育振興基本計画」を策定しました。



教育振興基本計画の表紙

なぜ今 新しい計画が必要か

市では、一人一人の個性を大切に、地域と共に歩む学びを推進してきました。この間、ICT(情報通信技術)の活用に加え、多様な背景や困難を抱える子どもたちの支援が必要とされるなど、教育の形は大きく変わろうとしています。

さらには、大人になっても自分らしく学び続け、自己の成長や社会への貢献につなげる生涯学習の必要性が高まっています。そこで、学校・家庭・地域が手を取り合い、成田に関わる全ての人の「ウェルビーイング」を向上させていくための道しるべとして、新たな計画を策定しました。

ウェルビーイングとは

心も体も、そして社会との関わりも満たされた状態にあることをいいます。また、自分らしく生きがいを持ち、持続的に幸

計画の基本理念

「未来へつなぐ誰もが自分らしく共に学び共に活躍できるまち成田」

子どもたちが地域の中で健やかに育ち、大人も子どもも未来に思いをはせ、学び続けることのできる環境を整えます。

また、知識や技能の習得だけではなく、学び合いを通じて、人として大切な心を育み、一人一人のウェルビーイングがあふれる成田を目指して基本理念を設定しました。

3つの柱で進める 成田の教育

市が取り組む主な施策を「3つの基本方向」に沿って紹介します。

基本方向1

未来を切り拓く「人」を育む
教育の推進

子どもたち一人一人の個性を生かしつつ、伝統と文化への理

解や、国際性、豊かな心と規範意識などを育みながら、未来を切り拓く力を育む教育を推進します。

令和8年度に実現したこと

- 市立小中・義務教育学校の児童生徒の給食費の完全無料化
- 学校給食センターの移転・再整備を行い、給食の調理を開始
- 休日の全ての部活動を地域に移行し、地域クラブ活動を開始

主な取り組み

「分かる」を支える少人数指導
本市独自に、教員免許を持つ「学校サポート教員」を各学校に配置しています。

習熟度に応じた少人数指導を



再整備された学校給食センター(下方)

行い、児童生徒に「できた」という自信を育みます。

世界とつながる英語教育

A L T (外国人英語講師) を全校に配置し、日本人教員とのチーム・ティーチングを効果的に行います。

また、教育課程特例校として、小学1年生から英語科授業を行い、英語に触れる機会を充実させ、コミュニケーション能力と異なる文化を尊重する国際性を養います。

心と体をつくる学校給食

学校給食施設の整備を進めるとともに、アレルギー除去食の提供体制を強化します。

また、地産地消の推進や食育の授業など学校での食に関する取り組みを推進します。

部活動の地域展開

生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむことができるよう、地域の関係者と連携し、持続可能な活動機会を確保します。

人権教育の推進

互いの違いを認め合い、思いやりを持って行動できるよう、命や人権について考える人権週間を設定するとともに、「命を大切にするキャンペーン」や人権集会などの取り組みを実施し

ます。

基本方向2

社会の変化に対応した教育環境の形成と学びの支援

社会の変化と多様な教育ニーズに対応した、柔軟で質の高い教育環境を整備するとともに、ICTなどを活用しながら、未来を見据えた教育の推進を図ります。

令和8年度に実現したこと

- 学校現場で起きるさまざまな問題に対応するため、学校アドバイザーとして校長経験者などの経験豊富な人材を配置
- 熱中症対策として、体育館の空調設備の整備を推進
- 児童生徒が使用する学習用タブレット端末を更新

主な取り組み

教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

市では、ICTを先進的に活用した授業づくりを推進しています。

引き続き、教員のICTを活用した指導力を高めることにより、学びの質の向上を図ります。また、児童生徒がICTを活用し、自ら課題を見つけ、学び続ける態度を養います。

教育環境の整備・改善

成田小学校の校舎の建て替えをはじめ、築年数に応じた計画的な改修を行うなど、安全で快適な学習環境を維持します。

地域ぐるみで子どもを育む

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)や学校支援地域本部の活動を通じ、地域全体で子どもを育む体制を強化します。

学びのセーフティネットの構築

就学援助や通学支援、日本語教育が必要な児童生徒への支援などにより、多様な環境にある児童生徒への学びの機会を保障します。

学校問題の解決支援

学校問題解決支援チームによる支援などを通じて、学校現場で起きる問題の早期解決を支援します。



学校支援地域本部による登校の見守り活動

基本方向3

誰もが自分らしく心豊かな人生を実現するための生涯学習の推進

誰もが生涯にわたり学び続けることのできる環境を構築し、学び直しができるリカレント教育を推進します。

また、学びの成果を生かし、活躍できる機会の充実を図ります。

令和8年度に実現したこと

- さらなる図書館サービスの拡充を図るため、図書館本館へ公衆Wi-Fiを導入
- 3歳を迎えた子どもを対象に、発達段階に合わせた絵本の配布を行うセカンドブック事業を実施
- 市の歴史遺産を守り、伝え、知り、生かすための文化財保存活用地域計画の策定に向けた取り組みの推進

主な取り組み

リカレント教育の推進

大学と連携し、より専門的な学びの場を提供する成田社会人大学を開催します。

また、公民館、図書館などで、多様な学習・スポーツ・体験活動の場を提供します。

学びを地域に生かす

生涯大学校での多様な講座や活動などを通して、人生100年時代における生きがいづくりを促進します。

学習成果を地域社会のさまざまな活動の中で生かせるまちづくりを目指します。

進化する図書館サービス

青少年コーナー「青春H i R O B A」の活用や利用者層ごとの異なるニーズに対応した講座を開催します。

子どもから大人まで誰もが本に親しみ、学ぶことができる図書館を目指します。

※計画の内容は市ホームページで公開しています。

す。くわしくは

教育総務課(☎20・1580)へ。



市ホームページ



絵本を配布するセカンドブック事業